

クライミング基礎講習会～日向神～

【報告者】K月

【日時】2019年11月17日 【天候】晴

【参加者】アキラ、A屋、Dr、O原、S田、みっちー、K崎、H田、I本、N田

《 報 告 》

天气に恵まれ、紅葉が最盛期間近の日向神ダム道端エリアにて、クライミング基礎講習会が行われました。

今回、私を含め3名が初心者でした。私はクライミングの経験がほぼ0に等しい状態での参加でした。私は初めて見る日向神の荒々しい岩肌に圧倒され今回の講習会への参加を深く後悔しました。「なんで岩登りなんか来たんだろう、家でNetflix見てたほうが良かったんじゃないか」と何度も何度も考えていました。



講習会開始。アキラさんを筆頭に先輩の皆様からハーネスの付け方、ロープワークなどのオリエンテーションから始まりました。一通りの説明が終わった後、アキラさんから「じゃあ、ここ登ってみようか！」と示された先は、スラブ壁の「ビレイは広場で」。

先輩の皆様からは比較的簡単というような会話が飛ぶものの、私は登れる自信がありませんでした。むしろ、今日は登らず見学のみでいいのではないかと感じました。

トップバッターはH田さん。スルスルと登っていく姿を尻目に次は誰が登るのかということで頭がいっぱいでした。そうこう考えているうちに、H田さんは終了点まで登りきり、次は誰がいく？という声がかかりました。「N田さんどうぞ」と言葉を発しようとした瞬間、「K月くんの方が岩から近いし先でええんちゃうん？」とN田さんが仰せられました。「ふぁっ！？岩から近いよりも歳の功でN田さんのが先登ったほうがえんちゃうん」と言いたかったのですが、そういうわけにもいかず渋々登る準備をしました。

いざ終了点へ！岩に手と足をかけようとした時、どこに手足を置いていいのかわからない…不安がよぎりました。しかし、もうこれは雰囲気登るしかないと自分に言い聞かせ必死で岩にへばり付くように終了点を目指しました。

登っていくうち意外と「これいけんじゃね？」と自信が芽生え、苦戦した箇所は途中あったものの終了点まで登ることが出来ました。終了点についての瞬間、S田さんから「K月くん周り見てごらん」という声で辺りを見回したと



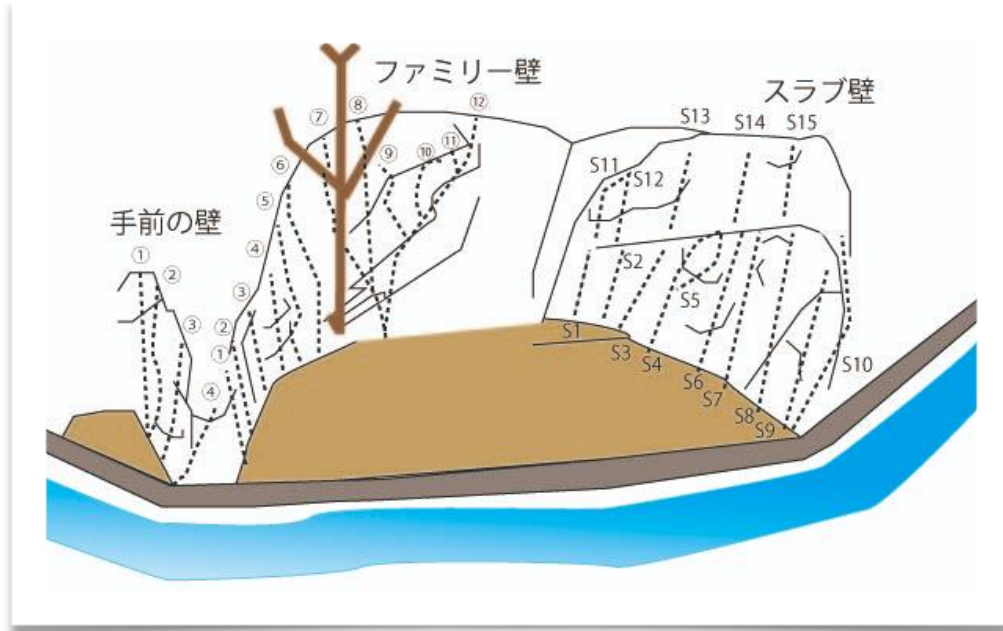
き、自分ほとんど無い所にいるということを知り、早く降りて家に帰ろうと深く感じました。

その後、3つのルートに挑戦しましたが、どれも上手く登ることが出来ず悔しさ残る初の外岩クライミングとなりました。また、先輩方の登る姿を見て、自分もあんな風に登れるようになりたいという新たな気持ちの芽生えに気づき、山の新たな魅力を発見する講習会でした。

しかし、またどこかの岩場を目前にして「なんで岩登りなんか来たんだろう、家でNetflix 見てたほうが良かったんじゃないか」という気持ちが湧いてくるのだろうなと感じました。



《 概念図・ルート図 》



- (S1) 楽園への道 5.8 (S2) 春の光 (下部) 5.7 (S3) いらっしゃいませ 5.8 (S4) 君のために 5.9
 (S5) ルネッサンス 5.10b (S6) ウェルカムベイビー 5.11 (S7) ひだまり 5.9
 (S8) 瞳 5.10a (S9) だんだん 5.9 (S10) ビレイは広場で 5.7 (S11) 春の嵐 5.11a
 (S12) 春の光 (上部) 5.11d (S13) 春霞 5.10+ (S14) 春眠 5.10 ノーマル (S15) 木の芽起こし
 5.10ー